

【生育状況】「うた乃」収穫期の管理について **New!**

農業研究所で9cmポットで二次育苗を行い9月24日に定植した「うた乃」の草丈は25cm程度、12月4日時点で全ての株で頂花房の収穫中です。第一次腋花房（2番）も出蕾しています。

「うた乃」の頂花房の花数は12～15果程度です。10果以内に摘果してください。今後の株疲れを防ぐためにも、1.5番花房が出た場合は、頂花房と1.5番花房合わせて15果程度を残すように摘果してください。また、心止まり株が出やすいことから、芽数は2～3芽を残してください。

研究所での現在の温度管理は、26℃換気、暖房機は5℃設定です。

「うた乃」は早生性および連続出蕾性が強いいため、草勢の維持が大切です。乱形果の発生を抑えるためには旺盛になりすぎないことも必要です。また今後は灰色かび病にも注意が必要な時期です。生育を停滞させず、給液過多にも注意して、管理してください。

【参考】研究所での給液管理は1日あたり2分3回（約200ml/日/株）でしたが、午後の排液回収率が約5割に上がってきたため12月始めに2.5分2回に減らしました。給液ECは約0.6mS/cmで、排液がEC0.2mS/cm台です（原水EC約0.1）。栽培システムや培土条件等により適切な給液管理が異なりますので適宜調整をお願いします。



頂花房10果に摘花済み



1. 5番花房が出た株

「うた乃」生育状況（収穫期）（農業研究所12月4日撮影）